

地域包括ケアの時代に
家族看護に期待される実践

プログラム・抄録集

会期 2017年 9月2日(土)・3日(日)

会場 東京ベイ幕張ホール

〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2丁目3

学術集会長 荒木 暁子 日本看護協会
(前 千葉県千葉リハビリテーションセンター)





The 24th Annual Conference of Japanese Association for Research in Family Nursing

日本家族看護学会

第24回学術集会

プログラム・抄録集

地域包括ケアの時代に 家族看護に期待される実践

会期 2017年 9月2日(土)・3日(日)

会場 東京ベイ幕張ホール

〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2丁目3

学術集会長 荒木 暁子 公益社団法人 日本看護協会
(前 千葉県千葉リハビリテーションセンター)

●学術集会事務局：
千葉県千葉リハビリテーションセンター看護局
〒266-0005 千葉県千葉市緑区誉田町1丁目45番2
TEL: 043-291-1831 FAX: 043-291-1857

●運営事務局：(株)毎日学術フォーラム内
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
パレスサイドビル9F
TEL: 03-6267-4550 FAX: 03-6267-4555
E-Mail: maf-jarfn24-chiba@mynavi.jp

学術集会に参加される皆様へのご案内

1. 受付について

総合受付

東京ベイ幕張ホール 2階ホール前ロビー

受付時間

平成29年9月2日(土) 11:30～17:00

平成29年9月3日(日) 8:30～15:00

事前参加申込みをされている方へ

- あらかじめ送付しております抄録集および参加証(ネームカード)を必ずご持参ください。当日忘れや紛失の場合、再発行はお受けできませんので、予めご了承ください。
- ネームカードホルダーは総合受付前に準備しておりますのでご利用ください。
- 会場内では必ず参加証に所属・氏名を記入のうえ、会期中は必ずご着用ください。

当日参加の方へ

- 当日参加をされる方は、総合受付の『当日参加受付』にて、下記の通り参加費を現金にてお支払いください。クレジットカードでのお支払いはできませんので、予めご了承ください。

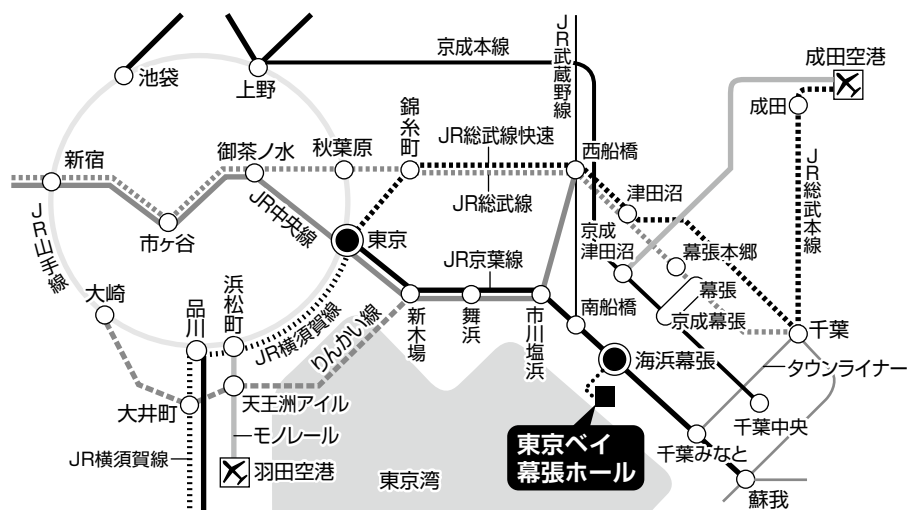
参加区分	当日参加費
会 員	10,000 円
一 般(非会員・大学院生を含む)	11,000 円
学部学生(当日、学生証の提示が必要)	3,000 円

- 参加証(ネームカード)、抄録集をお渡しします。ネームカードホルダーは総合受付前に準備しておりますのでご利用ください。
- 会場内では必ず参加証に所属・氏名を記入のうえ、会期中は必ずご着用ください。

2. 会場利用について

- 会場内に駐車場はございますが、イベント等で駐車できない場合もございます。公共交通機関をご利用ください。また駐車料金の割引サービスはございません。
- 会場内は全て禁煙となっております。
- 会場内はランチョン等で学会から提供する食事以外は、持ち込み禁止とさせていただきます。会場周辺には多数飲食店がございます。
- 会場内では発表者及び参加者の方々のご迷惑にならないよう、携帯電話は電源をお切りになるか、マナーモードへの変更をお願いいたします。
- 会場内のアナウンスやスライドによる呼び出しは行いません。総合受付付近にはメッセージボードを用意いたしますので必要に応じてご利用ください。

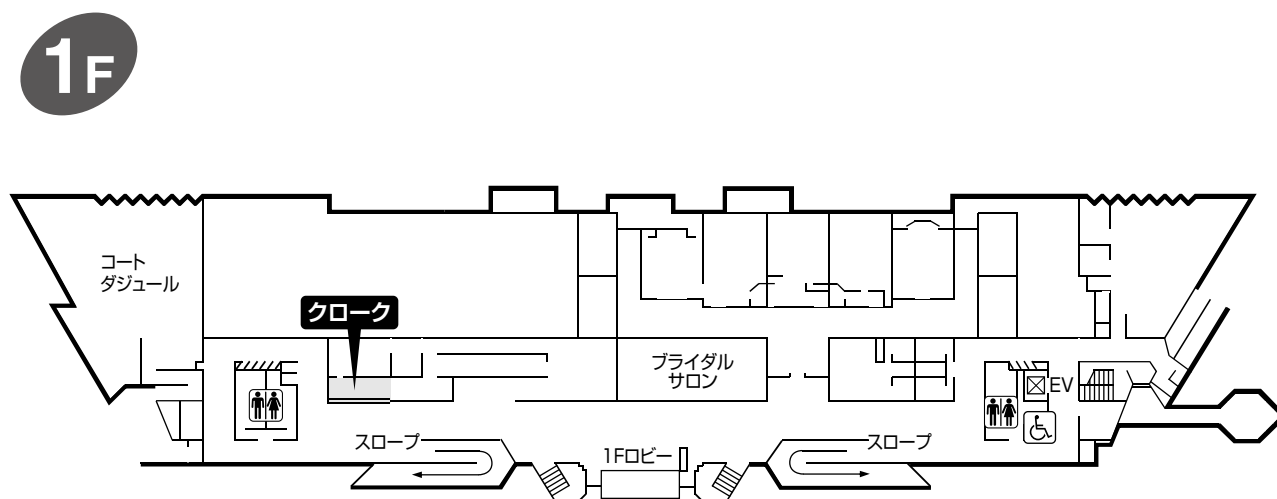
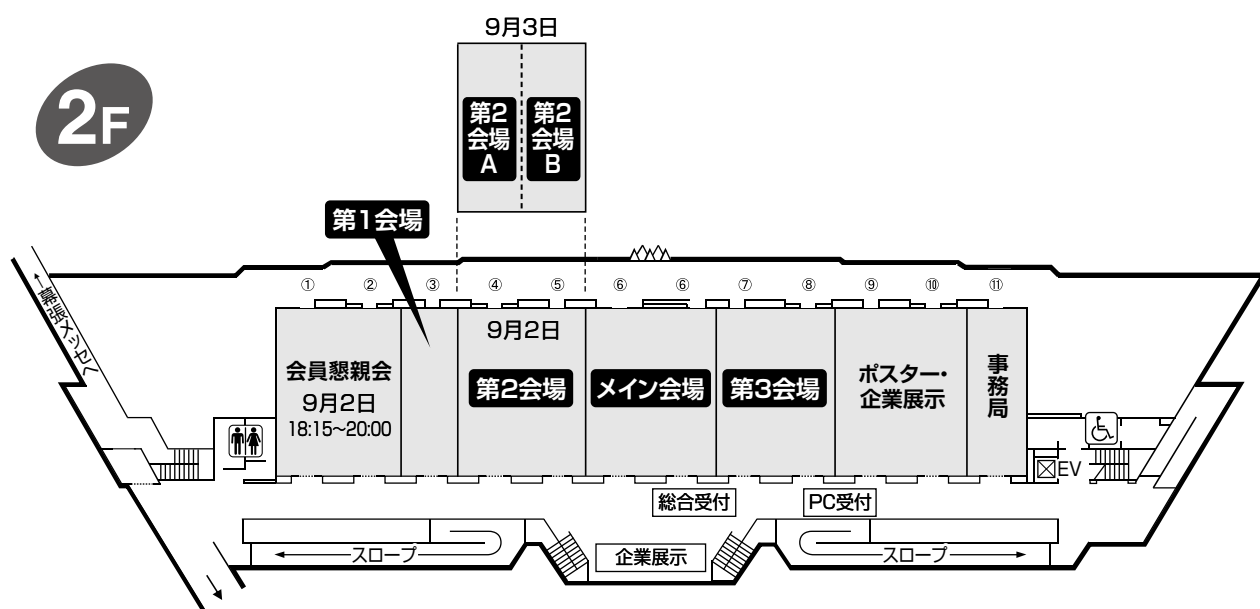
交通アクセス



会場までのアクセス

- 電車** JR京葉線「海浜幕張」駅より徒歩約5分
【海浜幕張駅までの所要時間】
 東京駅 → JR京葉線快速で約30分 → 「海浜幕張」駅
 舞浜駅 → JR京葉線快速で約16分 → 「海浜幕張」駅
 千葉駅 → JR内房線・外房線で「蘇我駅」へ約5分 → 「蘇我駅」からJR京葉線で約12分 → 「海浜幕張」駅
- 空港からお越しの方(リムジンバス)**
 羽田空港から：Airport Limousine(東京空港交通株式会社)
 → アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>降車、約60分
 成田空港から：京成バス → アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 降車、約45分
- バス** JR総武線「幕張本郷駅」より15分
 zozoマリンスタジアム・医療センター方面「メッセ東口」下車すぐ

会場案内



1日目 2017年9月2日(土)

	メイン会場	第1会場	第2会場	第3会場	ポスター 企業展示
12:00					12:00 ～ 13:00 ポスター 掲示
	12:20～開会式・オリエンテーション				
12:30～13:00	12:30～13:15 会長講演 在宅支援サービスにおける 家族支援 演者：荒木 暁子 座長：浅野 みどり			12:30～13:15 会長講演(中継) 在宅支援サービス における家族支援	
13:00					13:00 ～ 16:30 ポスター 示説
13:30～14:00	13:30～14:30 フロントランナーズ シンポジウム 育成期家族を地域で支える ー子どもと家族が笑顔で共に生 きるためにー 演者：村上 トメ子、栗林 知絵子 渋沢 茂 座長：小川 純子、北川 良子	13:25～14:35 交流集会 1 『家族看護エンパワ メントガイドライン』 の臨床への活用 ー家族らしく地域で 生活していくことを支 える看護ー	13:30～14:20 □ 演 1 地域包括ケアと 家族看護・その他 座長：荒木田美香子	13:30～14:50 交流集会 2 「渡辺式」家族 アセスメント／支 援モデル その8 ー地域包括ケア時 代の家族支援スキ ルとは何かー	14:20～ 14:40 自由討論①
14:00					
14:30～15:00	15:00～15:50 特別講演・市民公開講座 市民と創る地域包括ケア ー患者が看護師に期待することー 演者：山口 育子 座長：荒木 暁子	14:45～15:50 交流集会 4 ストーリーを作成 して家族ケアを考 える事例検討	14:30～15:40 交流集会 3 地域密着型・困 難な家族について の連携ケース検討 会の企画・運営 方法の検討	15:00～15:50 特別講演・市民公 開講座(中継) 市民と創る地域包 括ケアー患者が看 護師に期待することー 演者：山口 育子	15:40～ 16:00 自由討論②
15:00					ポスター 示説
16:00	16:00～16:50 教育講演 認知症高齢者の家族を支える ー名古屋事件最高裁判決を踏まえて 演者：池田 直樹 座長：田代 和子	16:00～16:50 □ 演 2 緩和ケア・慢性の 健康問題をもつ人 と家族 座長：古瀬みどり	16:00～16:40 □ 演 3 子どもの健康と家 族・家族への援 助方法 座長：山本 真実	16:00～16:50 国際交流委員会企画 アジア圏における家族 看護学の交流推進： インドネシアからの提言 演者：Agrina	ポスター 示説 16:30～ 17:00 ポスター 撤去
16:00					
17:00			17:00～18:00 総 会		
18:00					
18:15～20:00 懇 親 会 場所：ホール ①・②					

2日目 2017年9月3日

	メイン会場	第1会場	第2A会場	第2B会場	第3会場	ポスター 企業展示
8:30						8:30～
9:00						9:30 ポスター 掲示
		9:10～10:10 □ 演 4 障害のある人・ 慢性の健康問題 をもつ人と家族 座長：瓜生 浩子	9:10～10:10 □ 演 5 子どもの健康と 家族・家族へ の援助方法 座長：濱田 裕子	9:10～10:20 交流集会 5 機能不全家族の 問題と回復に向 けた介入方法 ーギャンブル依存 に焦点を当ててー		9:30～ 15:00 ポスター 示説
10:00	9:30～11:30 シンポジウム 事例研究と ナラティブ 演者：齋藤 清二 宇田川 元一 山本 則子 座長：上別府 圭子 池田 真理		10:20～11:20 □ 演 7 死別と家族 座長：山崎 あけみ		10:00～11:20 編集委員会・ 研究促進委員会 共催セミナー 査読をうまく活 用して、よい論 文に仕上げよう	10:10～ 10:30 自由討論①
11:00		10:30～11:10 □ 演 6 急性の健康問題をもつ人と 家族・家族への援助方法 座長：関根 光枝		10:30～11:40 交流集会 6 障害児を養育 する家族への 包括的支援 ー母親・父親・きょう だい等各家族員 の違いに注目して		ポ ス タ ー 示 説
			11:30～12:40 ランチョン 交流集会 11 現任の家族支援 CNS による家族 同心球環境理論 の活用最前線 演者：法橋 尚宏		11:30～12:50 第24回学術集会・ 教育促進委員会 合同企画 臨床における家 族看護教育に ついて実践事 例から学ぼう	
12:00	11:45～12:45 ランチョンセミナー 1 難病のこどもと その家族へ夢を 講師：大住 力 座長：伊藤 隆子	11:45～12:45 ランチョンセミナー 2 電磁過敏症 ーWHO の見解ー 講師：大久保千代次 座長：佐藤 悦子 共催：電気安全環境研究所				12:40～ 13:00 自由討論②
13:00	13:00～14:30 シンポジウム 地域で家族を支える 演者：武田 直己 胡内 敦司 西 ケイ子 山崎 潤子 座長：辻村 真由子 瀬尾 智美	13:00～14:10 交流集会 7 家族看護実践 の事例研究を 考える(2)： 「日本の現場 発 看護学」の開発 を目指す事例研 究ワークショップ	12:50～14:10 交流集会 8 「よくある」家 族事例から介 入を考える ーもっと家族にで きることがあつた んじゃないの?ー	12:50～14:00 交流集会 9 子どもを亡くし た家族へのグ リーフケアにつ いて考える	13:00～14:30 学術集会長企画 家族をユニットで理 解するための研究 とその成果の利用： 家族看護学研究法 リレーシンポジウム 演者：本田 順子 小林 京子 池田 真理 指定討論者： 法橋 尚宏	ポ ス タ ー 示 説
14:00		14:20～15:10 □ 演 8 看護教育、研 究方法・尺度 開発 座長：松田 宣子	14:20～15:20 □ 演 9 高齢者・認知 症がある人と 家族・家族へ の援助方法 座長：深堀 浩樹	14:10～15:20 交流集会 10 原点回帰！ やってみよう現 場のための「渡 辺式」家族アセ スメント／支援 モデル		
15:00						15:00～ 15:30 ポスター 撤去

プログラム（指定演題）

1日目 9月2日(土)

12:20～12:30 **開会・オリエンテーション**

メイン会場

12:30～13:15 **会長講演**

メイン会場

座長：浅野 みどり（名古屋大学大学院）

在宅支援サービスにおける家族支援

荒木 暁子（公益社団法人 日本看護協会（前 千葉県千葉リハビリテーションセンター））

15:00～15:50 **特別講演・市民公開講座**

メイン会場

座長：荒木 暁子（日本看護協会（前 千葉県千葉リハビリテーションセンター））

市民と創る地域包括ケア — 患者が看護師に期待すること —

山口 育子（認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長）

16:00～16:50 **教育講演**

メイン会場

座長：田代 和子（淑徳大学看護栄養学部）

認知症高齢者の家族を支える — 名古屋事件最高裁判決を踏まえて

池田 直樹（上本町総合法律事務所 弁護士）

13:30～14:30 **フロントランナーズシンポジウム**

メイン会場

座長：小川 純子（淑徳大学看護栄養学部）

北川 良子（千葉県立保健医療大学）

育成期家族を地域で支える — 子どもと家族が笑顔で共に生きるために —

FS-1 保育士が実施する「認可外保育園」における親子支援

村上 トメ子（認可外保育園ファミリー保育室 所長）

FS-2 「子ども食堂」を通じた子どもの「暮らし・遊び・学び」の支援

栗林 知絵子（NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長）

FS-3 中核地域生活支援センターの個別相談支援と地域づくり

渋谷 茂（中核地域生活支援センター長生ひなた 所長）

O-23 中学生の改正臓器移植法に関する認識の実態

○高儀 郁美、岡田 洋子

日本医療大学 保健医療学部 看護学科

O-24 造血幹細胞移植前の患児の健康関連 Quality of Life : 患児評価・父親評価・母親評価の三者間の検討

○中嶋 祥平¹⁾²⁾、佐藤 伊織¹⁾²⁾、上別府 圭子¹⁾²⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野、

2) 東京大学大学院 医学系研究科附属グローバルナーシングリサーチセンター
ヘルスクオリティアウトカムリサーチ分野

O-25 慢性疾患の診断を受けた子どもの家族システムへ心理的支援として介入した1例

○宮田 郁

大阪医科大学附属病院

O-26 子どものがんの罹患に伴う親の就労状況への影響に関する文献検討

○小林 明日香¹⁾²⁾、佐藤 伊織¹⁾²⁾、上別府 圭子¹⁾²⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野、

2) 東京大学大学院 医学系研究科附属グローバルナーシングリサーチセンター
ヘルスクオリティアウトカムリサーチ分野

10:30～11:10 口演6

第1会場

急性の健康問題をもつ人と家族・家族への援助方法

座長：関根 光枝（日本赤十字広尾訪問看護ステーション）

O-27 クリティカルケア看護師における家族支援への躊躇の様相

○長田 艶子¹⁾、入江 安子²⁾、多川 聖子³⁾

1) 奈良県立医科大学 医学部看護学科 成人看護学、2) 奈良県立医科大学 医学部看護学科 公衆衛生看護学、

3) 奈良県立医科大学附属病院

O-28 集中治療室における長期入室患者の家族のニーズ

○高橋 洋介、川嶋 勇平

旭川医科大学病院 集中治療部

O-29 気管切開術に対する代理意思決定への支援 —患者家族の意向を尊重するための倫理カンファレンスの活用—

○平井 美香

社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 看護部

O-30 退院をめぐる家族の合意形成を促す看護介入

○柳澤 千尋¹⁾、長戸 和子²⁾、瓜生 浩子²⁾

1) NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会 訪問看護ステーションなごみ、

2) 高知県立大学 看護学部

死別と家族

座長：山崎 あけみ（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

O-31 臍がんで治験を受けた患者の配偶者のストレス対処に関する事例研究○藤井 真樹¹⁾、小林 康司²⁾、井上 玲子³⁾、櫻井 大輔⁴⁾1) 川崎市立多摩病院 指定管理者 聖マリアンナ医科大学、2) 東京大学医科学研究所附属病院 看護部、
3) 東海大学 健康科学部、4) 神奈川県立足柄上病院**O-32 終末期の母親を支える家族の予期悲嘆に寄り添った看護
～喪失体験をもつ家族を支えて～**

○高杉 純子

大館市立総合病院

O-33 ICU 看護師の死別体験が及ぼす心理的影響の考察

○埴 恵子

茨城県立こども病院

**O-34 重篤な先天性疾患や障害を持つ子どもの親の会会員が
子どもの死別後に親の会への参加を継続する意味**

○河原 智江

共立女子大学 看護学部

**O-35 訪問看護師が家族介護者に用いる遺族ケアアセスメントシートの開発
～支援の必要性を予測する因子の探索～**○工藤 朋子¹⁾、古瀬 みどり²⁾

1) 岩手県立大学 看護学部、2) 山形大学 医学部 看護学科

**O-36 子どもを亡くした母親のグリーフ体験
～社会との関係の中での亡くなった子どもの扱い方～**

○濱田 裕子、藤田 紋佳

九州大学 医学研究院 保健学部門

看護教育、研究方法・尺度開発

座長：松田 宣子（関西国際大学保健医療学部看護学科）

O-37 在宅療養者を介護している家族のレジリエンス尺度の検討○新田 紀枝¹⁾、太田 暁子²⁾、久山 かおる¹⁾、前田 由紀³⁾、宗岡 千晴¹⁾1) 武庫川女子大学 看護学部、2) 佛教大学 保健医療技術学部 看護学科、
3) 武庫川女子大学大学院 看護学研究科 博士後期課程**O-38 在宅で療養者を介護している家族のレジリエンスに影響する要因**○久山 かおる¹⁾、新田 紀枝¹⁾、太田 暁子²⁾、前田 由紀³⁾、宗岡 千晴¹⁾1) 武庫川女子大学 看護学部、2) 佛教大学 保健医療技術学部 看護学科、
3) 武庫川女子大学大学院 看護学研究科 博士後期課程**O-39 Neonatal Intensive Care Unit (NICU) 先輩看護師による
後輩看護師への家族に対する看護実践の伝承に関する研究**○伊内 さゆり¹⁾、井上 玲子²⁾、石井 美里²⁾

1) 東海大学医学部附属病院、2) 東海大学 健康科学部 看護学科

**P-46 新設された NICU に勤務する看護師への教育的介入による変化
— ケアカンファレンスを通して —**

○岩月 悦子¹⁾、加藤 明美²⁾、山本 房美³⁾、汲田 明美⁴⁾、柴 邦代⁴⁾、服部 淳子⁴⁾、
山口 桂子⁵⁾

1) あいち小児保健医療総合センター、2) 愛知県心身障害者コロニー中央病院、3) 名古屋市立大学病院、
4) 愛知県立大学 看護学部 小児看護学、5) 日本福祉大学 看護学部 看護学科

**P-47 新設された NICU に勤務する看護師への教育的介入による変化
— 質問紙調査を通して —**

○加藤 明美¹⁾、山本 房美²⁾、岩月 悦子³⁾、汲田 明美⁴⁾、柴 邦代⁴⁾、服部 淳子⁴⁾、
山口 桂子⁵⁾

1) 愛知県心身障害者コロニー中央病院、2) 名古屋市立大学病院、3) あいち小児保健医療総合センター、
4) 愛知県立大学 看護学部、5) 日本福祉大学 看護学部

**P-48 患児の長期入院に伴う母子分離状態にあるきょうだいと
母親の思いと母親のかかわり**

○橋本 美亜、藤田 あけみ
弘前大学大学院 保健学研究科

P-49 NICU に入院している子どもと母親への援助に関する文献検討

○天草 百合江¹⁾、山口 桂子²⁾、服部 淳子¹⁾
1) 愛知県立大学 看護学部、2) 日本福祉大学 看護学部

P-50 保育所における気がかりな子どもの保護者への支援の現状

○小代 仁美
奈良県立医科大学 医学部看護学科 小児看護学

P-51 第2子妊娠中から産後1か月の母親の2人の同時育児に対する適応過程の特徴

○礒山 あけみ
上智大学 総合人間科学部 看護学科

会長講演 9月2日(土) 12:30～13:15

メイン会場

座長：浅野 みどり（名古屋大学大学院）

在宅支援サービスにおける家族支援

荒木 暁子（公益社団法人 日本看護協会（前 千葉県千葉リハビリテーションセンター））

教育講演 9月2日(土) 16:00～16:50

メイン会場

座長：田代 和子（淑徳大学看護栄養学部）

認知症高齢者の家族を支える —名古屋事件最高裁判決を踏まえて—

池田 直樹（上本町総合法律事務所 弁護士）

特別講演・市民公開講座 9月2日(土) 15:00～15:50

メイン会場

座長：荒木 暁子（公益社団法人 日本看護協会（前 千葉県千葉リハビリテーションセンター））

市民と創る地域包括ケア —患者が看護師に期待すること—

山口 育子（認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長）

フロンランナーズシンポジウム 9月2日(土) 13:30～14:30

メイン会場

座長：小川 純子(淑徳大学看護栄養学部)
北川 良子(千葉県立保健医療大学)

育成期家族を地域で支える —子どもと家族が笑顔で共に生きるために—

FS-1 保育士が実施する「認可外保育園」における親子支援

村上 トメ子(認可外保育園ファミリー保育室 所長)

FS-2 「子ども食堂」を通じた子どもの「暮らし・遊び・学び」の支援

栗林 知絵子(NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長)

FS-3 中核地域生活支援センターの個別相談支援と地域づくり

渋谷 茂(中核地域生活支援センター長生ひなた 所長)

シンポジウム 9月3日(日) 9:30～11:30

メイン会場

座長：上別府 圭子（東京大学大学院）
池田 真理（東京女子医科大学）

事例研究とナラティブ

S1-1 ナラティブと実践科学の観点からみた事例研究

斎藤 清二（立命館大学 総合心理学部）

S1-2 物語る組織をつくる ー組織論研究から家族看護実践へのメッセージー

宇田川 元一（埼玉大学大学院 人文社会科学研究科 准教授）

S1-3 語りが生み出す看護実践の知

山本 則子（東京大学大学院 高齢者在宅長期ケア看護学分野 教授）

シンポジウム 9月3日(日) 13:00～14:30

メイン会場

座長：辻村 真由子(千葉大学大学院看護学研究科)
瀬尾 智美(千葉大学医学部附属病院)

地域で家族を支える

S2-1 患者を支える、家族を支える、地域を支える

武田 直己(ただメンタルクリニック 院長)

S2-2 妊娠期から子育て期にわたる家族への切れ目のない 支援の実現に向けた行政の役割

胡内 敦司(松戸市 総合政策部 兼 子ども部 兼 教育委員会学校教育部 審議監)

S2-3 認知症の人と家族の地域での暮らしを支える認知症対応型通所介護の実践

西 ケイ子(認知症対応型通所介護 デイサービス和良比なごみの家 所長)

S2-4 生活者としての家族を支える訪問看護師のかかわり

山崎 潤子(医療法人社団きさらぎ会 緑が丘訪問看護ステーション)

座長：法橋 尚宏（日本家族看護学会国際交流委員会 委員長）

アジア圏における家族看護学の交流推進： インドネシアからの提言

Family nursing practice in Indonesia: Challenges and opportunities

Agrina（リアウ大学、インドネシア）

座長：河原 宣子（京都橘大学）

家族をユニットで理解するための研究とその成果の利用： 家族看護学研究法リレーシンポジウム

シンポジスト：本田 順子（神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域家族看護学分野 講師）

小林 京子（聖路加国際大学大学院看護学研究科 小児看護学 教授）

池田 真理（東京女子医科大学看護学部 看護管理学 教授）

指定討論者：法橋 尚宏（神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域家族看護学分野 教授）

査読をうまく活用して、よい論文に仕上げよう

編集委員会：泊 祐子、伊藤 隆子、上野 里絵、上別府 圭子、河原 宣子、
茂本 咲子、中山 美由紀、野島 敬祐、深堀 浩樹、真継 和子、
山口 桂子

研究促進委員会：上別府 圭子、荒木 暁子、池田 真理、上野 里絵、キタ 幸子、
小林 京子、津村 明美、山崎 あけみ

9月3日(日) 11:30～12:50

司会：中野 綾美（高知県立大学 看護学部・教育促進委員会委員長）

関根 光枝（日本赤十字広尾訪問看護ステーション・教育促進委員会委員）

臨床における家族看護教育について実践事例から学ぼう

プレゼンター：瓜生 浩子（高知県立大学 看護学部・教育促進委員会委員）

藤井 淳子（東京女子医科大学・教育促進委員会委員）

共同企画者：山口 桂子（日本福祉大学 看護学部・教育促進委員会委員）

中村 由美子（文京学院大学 保健医療学部・教育促進委員会委員）

交 流 集 会

9月2日(土)

交流集会 1

第1会場 13:25～14:35

『家族看護エンパワーメントガイドライン』の臨床への活用
—家族らしく地域で生活していくことを支える看護—

交流集会 2

第3会場 13:30～14:50

「渡辺式」家族アセスメント／支援モデル その8
—地域包括ケア時代の家族支援スキルとは何か—

交流集会 3

第2会場 14:30～15:40

地域密着型・困難な家族についての連携ケース検討会の
企画・運営方法の検討

交流集会 4

第1会場 14:45～15:50

ストーリーを作成して家族ケアを考える事例検討

9月3日(日)

交流集会 5

第2B会場 9:10～10:20

機能不全家族の問題と回復に向けた介入方法
—ギャンブル依存に焦点を当てて—

交流集会 6

第2B会場 10:30～11:40

障害児を養育する家族への包括的支援
—母親・父親・きょうだい等各家族員の違いに注目して

交流集会 7

第1会場 13:00～14:10

家族看護実践の事例研究を考える(2):
「日本の現場発看護学」の開発を目指す事例研究ワークショップ

交流集会 8

第2A会場 12:50～14:10

「よくある」家族事例から介入を考える
～もっと家族にできることがあったんじゃないの?～

交流集会 9

第2B会場 12:50～14:00

子どもを亡くした家族へのグリーフケアについて考える

交流集会 10

第2B会場 14:10～15:20

原点回帰! やってみよう現場のための
「渡辺式」家族アセスメント／支援モデル

**ランチョン
交流集会 11**

第2A会場 11:30～12:40

現任の家族支援 CNS による家族同心球環境理論の活用最前線

ランチオンセミナー1 9月3日(日) 11:45～12:45

メイン会場

座長：伊藤 隆子（順天堂大学医療看護学部・大学院医療看護学研究科）

難病のこどもとその家族へ夢を

大住 力（公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 代表）

ランチオンセミナー2 9月3日(日) 11:45～12:45

第1会場

座長：佐藤 悦子（山形県立大学大学院 看護研究科 地域看護学・在宅看護学）

電磁過敏症 ―WHO の見解―

大久保 千代次（一般社団法人 電気安全環境研究所）

共催：一般社団法人 電気安全環境研究所

一般演題

口演

9月2日(土)

第2会場

13:30～14:20

口演1群【O-01～O-05】

地域包括ケアと家族看護・その他

第1会場

16:00～16:50

口演2群【O-06～O-10】

緩和ケア・慢性の健康問題をもつ人と家族

第2会場

16:00～16:40

口演3群【O-11～O-14】

子どもの健康と家族・家族への援助方法

9月3日(日)

第1会場

9:10～10:10

口演4群【O-15～O-20】

障害のある人・慢性の健康問題をもつ人と家族

第2A会場

9:10～10:10

口演5群【O-21～O-26】

子どもの健康と家族・家族への援助方法

第1会場

10:30～11:10

口演6群【O-27～O-30】

急性の健康問題をもつ人と家族・家族への援助方法

第2A会場

10:20～11:20

口演7群【O-31～O-36】

死別と家族

第1会場

14:20～15:10

口演8群【O-37～O-41】

看護教育、研究方法・尺度開発

第2A会場

14:20～15:20

口演9群【O-42～O-47】

高齢者・認知症がある人と家族
家族への援助方法

一般演題 ポスター

9月2日(土) ポスター・企業展示

自由討論① 14:20～14:40 **P-01～P-12**

自由討論② 15:40～16:00 **P-13～P-20**

【P-01～P-04】 死別と家族

**【P-05～P-12】 看護教育
研究方法・尺度開発**

**【P-13～P-18】 緩和ケアと家族
その他**

【P-19～P-20】 子どもの健康と家族

9月3日(日) ポスター・企業展示

自由討論① 10:10～10:30 **P-21～P-37**

自由討論② 12:40～13:00 **P-38～P-51**

**【P-21～P-28】 高齢者の健康と家族
家族への援助方法**

**【P-29～P-33】 家族支援のネットワーク・資源
その他**

**【P-34～P-37】 地域包括ケアと家族看護
災害と家族**

【P-38～P-42】 家族への援助方法

【P-43～P-51】 子どもの健康と家族

日本家族看護学会第24回学術集会

平成29年7月26日発行

会 長：荒木 暁子

学術集会事務局：千葉県千葉リハビリテーションセンター看護局
〒266-0005 千葉県千葉市緑区誉田町1丁目45番2
TEL：043-291-1831 FAX：043-291-1857

運 営 事 務 局：(株)毎日学術フォーラム内
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル9F
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-Mail：maf-jarfn24-chiba@mynavi.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<http://www.secand.jp/>

定 価：2,000円（税込）

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。無断転載・複製を禁ず

● 学術集会事務局：
千葉県千葉リハビリテーションセンター看護局
〒266-0005 千葉県千葉市緑区誉田町1丁目45番2
TEL: 043-291-1831 FAX: 043-291-1857

● 運営事務局：(株)毎日学術フォーラム内
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
パレスサイドビル9F
TEL: 03-6267-4550 FAX: 03-6267-4555
E-Mail: maf-jarfn24-chiba@mynavi.jp